業委第2024-06号　佐賀県東部工業用水道　水処理施設清掃業務委託（特記仕様書）

（１）業務内容　　・水処理施設の清掃及び吸引した汚泥を浄水場天日乾燥場へ搬出

・高圧洗浄車による内壁・床面の洗浄（内壁、塗装を傷めない程度）

※洗浄圧力は10MPa以上を基準とし、内壁、塗装の状態により調節すること

・高圧吸引車による洗浄水・堆積土を抜き取る作業

（２）委託期間　契約締結の日　から　　2024年　12月20日　　まで

（３）対象施設

場所	施設名		施設構造等		
			底面積（㎡）	内部高(m)	地上高(m)
浄水場	強制沈殿池	No.1	113	6.10	1.85
		No.2	113	6.10	1.85
	横流式沈殿池	－	1,110	5.00	2.00
	沈砂池	No.1	111	5.00	4.00
江島配水池場	配水池	No.1、No.2	480	5.80	5.80
	配水池	No.3、No.4	372	8.50	8.50
亀の甲配水池場	基山地区配水池	No.1	35	3.80	1.20
	基山地区配水池	No.2	35	3.80	1.20
	立野地区配水池	No.1	34.5	3.80	1.20
	立野地区配水池	No.2	47	3.80	1.20

（対象施設の場所は、別紙施設位置図参照）

（４）作業日程（予定工程）

清掃作業は事前に予定工程表を提出し、監督員と事前協議を行い実施すること。
なお、配水池等の水抜き・水張りの運転調整は委託に含まない。

（作業日数）

場所	施設名		作業日数（日）
浄水場	強制沈殿池	NO.1	1
		No.2	1
	横流式沈殿池	－	3
	沈砂池	NO.1	1
江島配水池場	配水池	No.1、No.2	2
		No.3、No.4	2
亀の甲配水池場	基山地区配水池	No.1	1
	立野地区配水池	No.1	
	基山地区配水池	No.2	1
	立野地区配水池	No.2	

（５）その他

①作業車について、（３）対象施設の高低差・作業日数において十分に洗浄・吸引が行える車両を用いること。

②作業場所への車両（高圧吸引車・高圧洗浄車）搬入は、事前に各施設を十分確認すること。

③使用する資機材等（洗浄機、発電機、投光器等）は、事前に監督員からの承認を得ること。
④汚泥の搬出先は浄水場内とし、監督員の指示による。
⑤作業内容の報告は、作業報告書（様式第1号）に必要事項を記入し、監督員へ報告すること。
⑥作業に掛かった人数及び使用した資機材は、作業場所別実績報告書（様式第2号）で
監督員へ報告すること。
⑦施設内でクラック等の破損個所を発見した場合は、監督員へ報告すること。
⑧報告書を1部提出すること。
また、各施設の作業前作業後の写真を完成写真として1部提出すること。
⑨各施設について作業完了時に監督員に報告すること。
また、手直しが必要な場合は監督員の指示に従うこと。
⑩安全性を確保するため、17:00までには作業を終わらせること。
日没までに作業が終わらない場合は監督員に報告し、別日に作業を行うこと。
⑪浄水場内施設の清掃時には、工水を使用し高圧洗浄とすること。
⑫施設の汚損、破損時は直ちに監督員に報告し現状復旧を行うこと。
⑬配水池等の閉鎖型空間に作業員が入って作業を行う場合には、閉鎖型空間内の作業員及び
閉鎖型空間内の状況、気象状況等を監視する技能を有する監視人を配置すること。
⑭配水池等の閉鎖型空間に作業員が入って作業を行う場合には、換気・照明を十分に行い、
酸欠空気・有害ガス等の吸入防護対策を取ること。
⑮江島配水池場及び亀の甲配水池場については、別途工事等を予定しているので、
監督員と事前協議の上、詳細な日程を決定し、清掃を実施すること。

様式第 1号

作 業 報 告 書

委託名			
工期			
作業場所		作業期間	
汚泥堆積状況	箇所名	深さ(cm)	備考
	平均		
貝発生状況			
魚類発生状況			
臭気			
備考			

報告者

様式第 2号

作 業 場 所 別 実 績 報 告 書

委託名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

作業場所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 期間 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

月												
日												
曜日												
天気												合計
職種名												
	計											
機械名・規格												
	計											
作業時間												

※作業に当たった職種及び機械を記入し、日にちごとにかかった人工、台数を記入すること。
※時間は少数第1位まで記入すること。